

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（69）」

2. 日時：令和5年4月5日（水）15時55分～17時05分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：野田企画調査官、海田主任安全審査官、宮脇安全審査専門職、原田安全審査専門職、大井安全審査専門職

北陸電力株式会社：小田常務執行役員、藤田執行役員 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<本年3月6日受取済>

・志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について  
敷地周辺（海域）の断層の評価

・志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について  
補足資料

・志賀原子力発電所2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地周辺の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:08	原子炉規制庁の大井です。それでは時間になりましたので北陸電力とのヒアリングをさ、開始したいと思います。
0:00:16	本日は3月29日のヒアリングの続きということで、資料は3月6日にいただいた資料を使って
0:00:26	化したいと思いますんで、3月29日にですね、この資料については説明いただいておりますので、本日は、規制庁が、審査側からもですね、コメントからか入らせていただきます。
0:00:38	それではですね、規制庁側からの方からコメント。
0:00:41	等ありましたらお願いいたします。
0:00:47	規制庁の宮脇です。前回に引き続いて私の方からいくつかコメントさせていたきたいと思います。
0:00:56	主に連動に関する追加検討について、ちょっとご確認させていただきます。
0:01:05	前回ですねちょっとこの検討対象断層の抽出とか、あと、
0:01:14	連動のルールですね、ちょっと聞き逃したところがあるんで、
0:01:20	316ページをお願いします。
0:01:27	これは検討対象断層の抽出というところで
0:01:34	この舩田の起震断層による区分の模式図を基本としながらも
0:01:41	一部、
0:01:43	吉岡の
0:01:46	この断層面に、の走向方向が20度以上の急激な層厚変化がある場合、
0:01:54	ここでは30度以上の層厚変化がある。
0:01:58	がある断層については、
0:02:02	この検討対象断層から外すという、北陸電力独自のルールを、
0:02:09	もし、
0:02:12	用いているようですけども、
0:02:16	この下、片括弧2ですねこのほぼ同じ走向のというところが、層厚の差が30度以上より大きいもの。
0:02:25	これについては十分除外するというご説明でしたが、一方で片括弧4番の
0:02:33	その断層の midpoint が、主断層から5キロメートル以上離れている倉庫を維持する。
0:02:40	付随断層或いは噴気断層については、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:46	これは次、評価単位、別の表、起震断層として評価するというふうにあるんですが、
0:02:54	床例を、からするとす。走向がですね、仮に 30 度以上、層厚の差があったとしても、距離が 5 キロ以内であれば、
0:03:07	同じ断層体に含めると思う読める。
0:03:11	ですけども、この点は事業者はどのように考えてますか。
0:03:20	北陸電力 1 社です。
0:03:22	こちらの 4 番のパターンについてはですね、いわゆる付随断層もしくは分岐断層、今この緑で塗ったものですね、この緑で持ったものがこのグレー。
0:03:32	に、
0:03:33	このいわゆる分岐断層もしくは付随断層というふうに、この模式図では読めますけれども、いわゆるこの緑の部分が付随断層もしくは分岐断層とわかっている場合に、この 4 番について適用できるのではないかとこのように考えております。
0:03:48	今で言いますと我々の評価で言いますと例えばですけども、笹波冲断層体と、今回、海士岬冲断層体の北部の部分を笹波冲断層体の分岐断層として評価、
0:03:59	変更いたしましたけれども、こういった場合のように、分岐断層と分かっている場合についてこの 4 番、適用できるのではないかと我々考えております。
0:04:09	実際この海士岬冲断層での北部ですね笹波冲断層大の分岐断層としたものにつきましては 5 キロ圏内に入っていますので、これについてはこの 4 番には当てはまらないということで、
0:04:23	この 4 番については対応してないと、実際他の断層を見ましても、能登半島周辺の断層に関してこの 4 番に当てはまるようなものは、今のところないというふうに我々考えております。以上です。
0:04:37	その点ちょっとわかるように記載しておいていただけないですかね。
0:04:43	北陸電力社です。承知しました。
0:04:46	します。
0:04:48	あとですね、連動のルールで、
0:04:54	322 ページですね。
0:04:57	これケースごとに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:01	この連動するかさせるかしないさせないかというのを図示されてるようなんですけども、
0:05:08	例えばこのBの断層トレースが不連続となる箇所で、
0:05:14	断層外背斜軸も連動、連続しないというのと、あと、これに関連してですね椎野、柳北井との関係で、
0:05:23	この右側の図で断層トレースが不連続となる箇所で隆起体も、
0:05:29	連続しないという図がそれぞれ示されてるんですけども、
0:05:34	この図であれば
0:05:38	小断層同士が非常に近ければ、普通に連動すると思うんですけども、
0:05:44	これはどう、どういうことなんですかね。
0:05:54	東北電力の木村です。
0:05:57	こちらの、
0:05:59	Bのケースは、
0:06:03	断層と猪野断層と二つありまして、この
0:06:08	断層トレースが不連続となる。
0:06:12	断層が廃車率が連続していると書いておりますけども、この断層トレースの間の距離は、今5キロ以内であるものを対象としてまして、
0:06:24	その断層トレースが一旦途切れると。
0:06:28	いうものについても、間に何かしら断層内ですとか、背斜軸等の構造が連続していると。
0:06:35	いうものについては、
0:06:36	連動することを審査するというふうに考えております。それから、流域単位についても、この断層と猪野断層と断層トレース
0:06:47	で二つありまして、
0:06:50	この間、断層間の離隔距離5キロ以内にあるものを、今、検討対象としておりますけど、
0:06:58	断層沿いの断層で、断層トレースが途中で不連続となっても、
0:07:03	隆起体が連続している。
0:07:07	こういった場合は、
0:07:09	連動することを示唆するというふうに評価をしております。
0:07:13	以上です。
0:07:16	連続するっていうのわかるんですけど、瓜生喜多伊井がですね断層タイプ値で連続してるっていうのはわかるんですけど、
0:07:25	親はやはり連続してなくてもですね非常に距離が近ければ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:33	連動させるっていうのが普通の推本とかでやってる。
0:07:39	連動の評価でも、
0:07:42	そそ
0:07:44	連動させるんじゃないすかね。
0:07:58	北電の業者です。
0:08:00	皆さんおっしゃる通りです。このCの、例えばCの柳北井ですよ。瓜生北井で、ここで×連動しないことを示唆するという条件がもしあれば、
0:08:10	ただしこのデータをもってすぐに連動してするっていうわけではなくてですね、例えばこのA B C D Cの大仲で流域体が上盤側に、
0:08:21	或いは隆起大学、縁が切れて、近くても、
0:08:26	分岐できるということがあればこのデータだけ見ると、連動、ダンスを例えば断層が連動する、しないことも示唆するというところでここで連動しないと評価してるわけではございません。
0:08:39	例えば、こういう状況であっても、例えば、例の重力異常が、このからe - ババ側に連続していたり、あと地震活動も連続していたり、
0:08:50	あとbで示すようにこういう状況があっても、背斜構造が連続していたり、崖がですね、跳び連続してる状況一つでもあれば、連動を考慮しておりますので、このCの状況、
0:09:03	をですね、例えばこの上盤側の流体が連続しないことをもって、ほぼ連動しないというわけではなくて、一つ、この一つのデータだけ見ると連動しないということを示唆しますよと、そういうことを表しております。
0:09:18	補足いたしました。以上です。
0:09:20	多分ね
0:09:22	この図、図の例がよくないんだと思うんですけども
0:09:26	還俗しないと、不連続だとか、
0:09:29	ていうのは例えば雁行雁行してたりとかですね。
0:09:33	等流来た伊井が、その断層、二つの断層で、隆起体の
0:09:39	方向が分布する位置が、
0:09:43	上と下で違ってたりとか、
0:09:45	そういう図を示すべきなんじゃないすかね。
0:09:55	はい。北陸電力の儘田です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:57	図の絵の見せ方がちょっとこれわかりにくいということですので、連続性であれば少し雁行させるですとか、流体も飲食店、
0:10:12	音が途切れて聞こえないようなんですけども、
0:10:20	あ、すみません、新村村瀬で音声はこちらでも聞き取りにくい状況ですが、今聞こえておりますでしょうか。はい。今聞こえております。
0:10:32	それでは改めて回答させていただきます。
0:10:37	今ほどの宮木さんのコメント等の通り例えばBの断層、背斜構造の連続性ですとか、今地震の隆起帯との関係、
0:10:49	これが右側の連動しないことを示唆するところの、この図につきましても1直線上に書いたり、
0:10:56	書いておりまして、もう少し、
0:10:59	実際、バツにあるものの事例と少し違うような状況に見えてしまうということもありますので、
0:11:06	例えば雁行させるですとか、流体の部分を、少し正確ですとか、そういった不検討させていただきたいと思います。
0:11:15	以上です。
0:11:16	はい。ちょっと検討してみただけですかね。
0:11:19	よろしくお願いします。
0:11:21	野田ですけど今のところに関連して、1点確認させてもらえればと思うんですけど、Bの右側、今連動しないことを示唆するってなっていて、
0:11:32	これ例えば、
0:11:33	Bの右側の方で、5キロ以内だったら、これは背斜軸背斜構造が連続してなくても、連動させる。
0:11:43	そういう整理でいいですか。5キロ、5キロルールを適用した場合に、このBの右側を御社は今どういう等評価しているのか、確認させてもらえればと思うんですけど。
0:11:57	北陸電力の野原です。
0:11:59	今こちらに示してある322ページのルールの設定につきましては、そもそもステップ1で5キロ未満のものを取り上げたものを対象に議論しているページとなります。
0:12:11	したがいまして今ほど野田さんおっしゃる通りこのBの右側、
0:12:16	この断層の連続性につきましては、
0:12:20	5キロ未満の話をまずしているという前提で考えております。
0:12:24	その際に、いわゆるこの5キロ未満の場合に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:27	アイウエオ音波探査測線で明らかに断層がないと。
0:12:31	こういったものにつきまして、連続性がないという評価をしております。それぞれの距離は、特に考慮はしていません。
0:12:39	以上です。
0:12:40	ノダですけどご説明ありがとうございますそしてすいません。これ、段階を追って説明しているにもかかわらずこのステップ3だけ着目して、ここが5キロ未満のケースの、
0:12:53	説明をしているということ、
0:12:57	確認できていなくて失礼しましたけど、はいわかりました。5キロ未満なんですね、5キロ未満の時に、こういうケース。
0:13:06	の場合はどうするかってそういうことですか。わかりました。
0:13:10	はい。とりあえず事実確認はできたんで、私からは以上です。
0:13:19	甲斐技師規制庁カイダですあれ、聞こえてますか。
0:13:26	はい。聞こえております。すいません。
0:13:28	ちょっと私もこのルールのところとちょっと具体的に、例も含めて確認したいんですけど今322ページで断層が背斜構造とか、結城田井。
0:13:42	あと重力異常も途中でそういった断層線も途切れて、
0:13:48	その何ていうか、何ていうか、バックとなるような地質構造が途切れていけば、連動しないってというような、
0:13:57	そういった整理をされていると。
0:14:00	例えばですね具体的に見る見て、
0:14:04	259ページ。
0:14:09	これ連動評価のになるのか
0:14:14	わからないんですけど、
0:14:16	セグメントが幾つかある中で、
0:14:20	ちょっとちっちゃいんですけど各々背斜軸とかっていうのは、
0:14:27	ずっと繋がってるわけで、なくて、
0:14:30	途中で途切れてたりとかして、けどもこれは全部連動しますという評価になってるんですね。で、
0:14:42	283ページとかも、
0:14:46	この重力異常分布が、一体のものとして続けば連動します。
0:14:53	というルールなんですけどこれ、四つのセグメントを見ると、
0:15:00	必ずしもそうじゃなくて、
0:15:04	結構分かれてると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:08	だけど連動してるっていうことでこれは
0:15:12	ルールに従ってるのかルールには強い従ってないんだけどここはさらにここが保守的な観点で連動してるのかとか、
0:15:24	ちょっとこの、こういった今これ1例なんですけど、
0:15:28	ちょっとその辺の関係をちょっと確認したかったんですけどもよろしいですか。
0:15:36	はい。北陸電力の石田です。
0:15:48	カイダですいません今ちょっと、もうちょっと今、声が最初の辺からイシダですとおっしゃったところあたりからもう聞こえてなかったんで、すいませんもう一度お願いします。
0:16:02	あ、すいませんちょっとこちら今、カイダさんの声が二重で聞こえてましてちょっとその間、ちょっとしゃべるのをやめてたんですけども、今、大丈夫でしょうか。
0:16:11	すいませんはい、今大丈夫です。念のため、そちらの、そちらの画像をちょっとどうしていただけますかこちらも切ります。
0:16:24	すいませんそうしましたら説明は続けさせていただきます。はい。お願いします。今ほどおっしゃったものにつきましては、連動の追加検討以外、国による連動評価を反映したケース。
0:16:37	のものになってきます。これにつきましては、別途検討しております、補足資料の3.1-2。
0:16:47	補足資料の3.1-2。
0:16:49	2、
0:16:50	国による連動評価を考慮した組み合わせの連動の可能性検討結果という資料を今回つけさせていただきますいております。
0:16:59	これにつきましては、
0:17:02	2章の方で、国や連動の評価を行った。
0:17:07	8ケースにつきましては、3章で、我々が設定した連動の評価ルールを用いて、評価した場合、どういう結果になるかというものを検討したのになります。
0:17:20	これを見ますと、
0:17:22	今仰ってましたのと、
0:17:25	これを見ますと、梅木断層体のケースは、断層の組み方のタイプのケースは、確かに重力異常分布ですとか地震活動というところでは、
0:17:36	バツになってくるんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:43	断層を、
0:17:45	連続性ですね、いわゆる、
0:17:47	こちら、それぞれの間、連続性としましては、それぞれ止められてるんですけどもかなり均質して雁行状に連続して分布しているということもありまして、これについては、
0:17:59	連続性もあるということで、今のルール設定でいきますと、0になると。
0:18:05	ということになっております。
0:18:08	以上です。
0:18:11	はい。カイダです。
0:18:13	そうしますとさっきの 259 ページの方で見ると、
0:18:18	ちょっとちっちゃくてわかりづらいんですけど、これは、
0:18:22	何か背斜構造とかは、降雨、
0:18:26	なんていうか、言います金子。
0:18:29	続いているようにも見えないん。
0:18:31	ですけど、
0:18:33	これは
0:18:35	続いているという評価なんですかね短くブツブツ書いてあると思ってるんですけど。
0:18:41	これはちょっと大きくしてみればちゃんと繋がってるからへ、
0:18:47	連動を、が評価できるというそういった御説明ですか。
0:18:55	北陸電力伊佐です。
0:18:56	それぞれ、確かにこれ小さくて申し訳ないんですけども、会社の連続性としては、それぞれのセグメントで、ちょっと切れているようには見えるんですけども、いわゆる、
0:19:06	L、重なってといいますか、重なって、連続的に分布している雁行状に連続的に分布してるというところも含めて、
0:19:15	0 にしていると、いう評価をしております。
0:19:19	以上です。
0:19:21	はい、わかりました。カイダですわかりましたじゃさっきの 322 ページのところですね
0:19:27	だから、かなり簡略すかして書いてあったんですけどこういったようなものっていうのは
0:19:35	途切れてるっていうふうに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:37	評価してなくて、連動Cを評価するんだっていうところが、わかるような形で書いていただいた方が、いいかなと思うんですけど、よろしいですか。
0:19:49	北陸電力1社です。はい、承知しました。これ実際にその具体例ということで今、例を示していますけれども、実際のこの検討結果のところには、
0:19:59	様々なパターンでできますので、実際の例に即したようなものを、
0:20:05	検討させていただきたいなと思います。以上です。
0:20:09	お願いします。
0:20:14	野田ですけど、今のカイダさんからの事実確認に関連してなんですけど、これ私多分前回お伝えした通り、
0:20:25	連動の評価をするときに、まずはその連動の考え方をご説明いただきますし、
0:20:32	それが適切かどうかということも、我々と議論する必要があるんですけど、その次のステップとして、今まさにカイダさんから、
0:20:40	伝えはした通り、
0:20:42	それぞれのその連動がルールに沿ってんのか、そってないのか、下がってんのかしたがつてないのか、従ってないんであれば、御社として、これ例外になると思うんすよね。
0:20:54	従ってないんであればどういったその根拠をもとに、そこを連動させるのか、させてないのかっていうのは、明確にさせていただいた方が、今後この連動のところの評価を、
0:21:07	議論するときのベースとして、お互いのその共通認識を図っておく上で必要だと思ってますんで、今
0:21:17	伊佐さんから今例示ということで、ちょっと他のところの連動の評価もそういう、
0:21:23	いった視点でもう一度ちょっと記載を確認していただいて、必要あれば、そういったことをです。追記しただけしていただければと思うんですけどその点いかがですか。
0:21:37	北陸電力一緒です。
0:21:39	今野辺さんおっしゃったように、実際我々解釈をもって、
0:21:45	いわゆるマルですとかバツにしている部分も幾つか見られます。いわゆるこういう具体でそのまんまというところではないところも幾つか見ら

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	れますのでそういうところについては、そういったところがわかるような、
0:21:56	記載に修正させていただきたいなと思います。以上です。
0:22:00	はい、ありがとうございます。よろしくお願いします。以上です。
0:22:06	はい。
0:22:07	引き続き、個別の連動、
0:22:12	連動する。
0:22:13	あれ、ありますか。はい。
0:22:17	すいませんちょっとちょっとルールのことに関連してもう一つ追加で確認したいと思います。
0:22:26	ルールと言いながらも 347 ページをお願いします。
0:22:35	で、
0:22:36	これ具体的な結果、検討結果なんですけど断層外背斜構造の連続性というところの一番下の行ですね。
0:22:46	主たる構造同士の離隔が 5 キロ以上大きいから、連動、大きいというところが書いてあって、
0:22:56	主たる構造を比較したということなんですけど、それってさっきの 302、20 ページ前後のところ、
0:23:05	主たる構造同士での比較によってこういうふうに判断しますっていうところが、ちょっと読み取れなかったんですけどそれはどっかルールに書いてあるんでしょうか。
0:23:20	北陸電力 1 社です。
0:23:22	この主たる構造処理カクウを判断要素として用いているものについては、すべてがすべてまず用いているものではないというのが一つ理由に、今のルールの中に入っていない理由の一つになります。
0:23:37	我々まず抽出の、
0:23:40	段階、この評価、検討対象断層を抽出する段階にあたってまず 5 キロ未満ということでフィルターを一つかけていますので本来、
0:23:49	こういう、
0:23:50	5 キロ以上の離隔があるものというものは、本来抽出されないんですけども、
0:23:56	実際正しいこの笹波ですとか、笹波と猿山沖セグメントを、詳細に検討していきますと、いわゆる単純な断層トレースでいくと 5 キロ未満として検討対象断層として抽出するんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:10	いわゆる、記載されてますけども上部的な考え方を比べるとやはり、
0:24:14	連動において、
0:24:18	連動の検討を行うべきところというのはいわゆる震源断層が主たる構造として、震源としてなり得る部分を比較するべきであろうと。
0:24:26	いうところで比べますと、猿山大木セグメント笹波セグメントの主たる構造という部分はこういう曲がりの部分ではなくて、直線的に連続している E N E W S W、N N E W S W 方向、
0:24:40	の部分は除いて、
0:24:43	N E S W 方向の直線的な部分を主たる構造として比較した場合に、やはり離隔がそれなりに大きいと、5 キロ以上と大きいという部分が、トレンドシズ連動する可能性が低いという判断根拠の一つになるのではないかとこのように考えて、
0:24:59	今、判断要素の一つとして入れている。
0:25:03	この同様に、同じようなケースで、海士岬沖断層対土佐佐貫断層体東部についても同様な検討を行っていますけれども、その他については、いわゆる主たる構造という。
0:25:16	考え方を必ずしもするわけではありませんので、判断要素の一つとしては入れてない。
0:25:23	という考え方になります。以上です。
0:25:29	カイダです。わかりましたで。
0:25:33	わかりましたっていうのはす。今お話を聞いて、
0:25:37	どういう背景かっていうのはわかったんですが、
0:25:42	今、説明の中で、比べるべきは主たる構造だろうという判断があって、
0:25:50	一部の断層についてはそういう評価をしてるっていう、比べるべきは主たる構造なんだろうというところが、
0:25:58	どっかにないと、今、例えば 347 ページは、
0:26:04	何か評価基準があってその結果、主たる構造は、5 キロ以上と大きいから、
0:26:11	OK なんですよって言いつつも、
0:26:15	資料見ていって主たる構造紙に着目しないといけないんだっていうのがちょっとどこにもないので、
0:26:24	それは連動のルールのところ 2 書くのか、そこはちょっと前段で、そこに着目しないという主たる構造に着目するって言った背景みたいところは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:37	常識だろうという古藤かもしれないですけどちょっと何かその辺はわかるように書いておいていただきたいんですけど、よろしいですか。
0:26:48	鳥居電力1社です。わかりましたちょっと、どこにその文言を入れるかはちょっと検討させていただきたいと思えますけれども、それがわかるような記載、ルールのところになると思えますけれどもそれがわかるような記載は追加したいと思えます。以上です。
0:27:02	はい。よろしくお願ひします。
0:27:05	私からは以上です。
0:27:10	じゃ、個別の連動性評価について、確認させていただきたいと思えます。
0:27:17	337 ページからの海士岬沖断層と笹波沖断層東部の連動性、
0:27:26	についてですけども、300、
0:27:32	これはこの前
0:27:35	少し議論しましたけども、
0:27:38	この海士岬沖断層体っていうのは当初は北部と、
0:27:43	中間部と、それから、
0:27:46	南部とあったところのその北部を、
0:27:50	笹波沖断層田井東部の分岐断層というふうに、今回、
0:27:56	区分したと、別の断層に区分したということ。
0:28:00	それから、
0:28:01	この連動性
0:28:03	阪上沖断層田井東部と、それから、
0:28:07	海士岬沖断層体の連動性を考える際には、
0:28:11	この中間部については考慮しないという点ですね。
0:28:15	d す。
0:28:18	しかもこの中間分は、
0:28:22	この分岐当初北部としてたあの断層と連動しないという点。
0:28:27	この点について詳細な
0:28:31	説明を加えるということだったと思うんですけども、確認ですけどもよろしいでしょうか。
0:28:39	北陸電力1社です。はい。次回のヒアリングではこちらについて、追加した資料をお示ししたいと思っております以上です。
0:28:48	知久お願ひします。
0:28:52	後々、ちょっと気になった点はですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:57	343 ページですね。
0:29:04	へえ。
0:29:06	ここに
0:29:08	海士岬沖
0:29:09	断層、
0:29:11	は、これトランスフォーム断層であると。
0:29:15	笹波沖断層対応、こここれはどういうことなんですかね笹波沖断層対応。
0:29:22	海士岬沖断層が切って変位さしているということが言いたいんですか。
0:29:33	北陸電力 1 社です。
0:29:35	この海士岬沖断層体の中間部の部分の分布形態と笹波沖断層体の分布を、
0:29:43	見てみますと、
0:29:45	まず、
0:29:47	前提として、この濃度半島周辺が、昔院長場で、
0:29:52	正断層的にできたものが現在、インバージョンで逆断層として動いているというところがまず、
0:29:58	前提としてあります。実際この笹波沖として動いているところがまず前提として、このバージョンということがわかっておりまして、正断層で形成され、精錬する波線院長役場の時代に形成されたということが、
0:30:12	はわかっております。この院長応力場の時代に、引っ張りで形成されたというふうに考えますと、343 ページの右側にちょっと模式図つけさせていただいておりますけれども、
0:30:24	この太いグレーの線を佐貫断層体に対応するものとして考えていただいた場合、矢印で指した細い直交するような線がいわゆるトランスファー断層として形成されるもので、
0:30:36	これが水木沖断層体の中間部の部分に当たる可能性があるというふうに我々考えております。そういった意味で、こういう 2 丸目の記載を記載させております。記載させていただいております以上です。
0:30:52	ですね
0:30:54	この 338 ページの
0:31:01	この海士岬沖断層の中間部の延長で
0:31:05	行っている。
0:31:07	音波探査断面には、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:11	断層は延長してないというふうに、
0:31:14	記載されてるんですけども、
0:31:16	これはトランスファー断層であれば、ズバッと笹波沖東部断層体まで、
0:31:26	達してる。
0:31:27	はずだと思うんですけども、この点はどうなんですか。
0:31:31	北陸電力一緒です。
0:31:33	こちらについては、もともと院長応力場の時代に形成されている可能性がありますので、かなり古い時代に形成されている。
0:31:43	そのあと、いわゆるC層B層映像が溜まっていった後の段階では、仮に、
0:31:52	必ずしもトランスファー断層、絶対そうだという可能性はあれなんですけれども、仮にトランスファー断層だったとした場合、そのC層以上の
0:32:03	地層が積もった後には、少なくとも、活動していないと。
0:32:06	いうことが、
0:32:07	この音波探査測線からわかるというふうに我々考えております。以上です。
0:32:14	C層より下の構造っていうのは切れてるってのわかってるんですか。
0:32:22	北陸電力社です。
0:32:23	えっとですねこの林層以深になってきますと、音響基盤になってきますので、はっきりとしたことがわからないというところが事実でございます以上です。
0:32:34	そうなると
0:32:36	特に根拠はないわけですよ何らかのやっぱり根拠がないと、
0:32:41	こういったトランスは断層だとかっていうことは言えないんじゃないですか。
0:32:48	はい北陸電力吉田です。
0:32:50	伊奈さんのおっしゃる通りです。ちょっとこれ、この辺ですね、補足させていただきます。この会議はですね、能登半島地震の後にですね、東京大学の方で、
0:33:02	複数産総研も入れて、大掛かりな調査をしています。ここで343ページの右下に示す。
0:33:10	このトランスファーという考え方は、東京大学の先生がとらえてるんですが、このあたりは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:16	先ほど申しましたように北西南東の昔の引張軸によって、地殻がですね、山に出すっていいですか、こういうふうに来られると、引っ張れる時に、
0:33:27	横方向、この拡大軸と直交する方向にやっぱ強度が違うもんですから、大きく引っ張れるところと小さく引っ張るところがやっぱ差にですねその間に導入的な構造ができるだろうっていう形で綺麗にこれ、書いてますが、
0:33:40	この辺りのそういったもんが、導入的なものがあるってですねそれが笹波の東部と西部を境界している。
0:33:49	いう形で宮城さんおっしゃるように、綺麗なこのトランスファー断層がこの記録で見えるのかって言いますと、
0:33:55	ちょっと変は見えたり見えなかつたりするときに、
0:33:59	この2は342ページですね、この地質部見ていただきたいんですが、これはこの色つきはですねエースをとっばらってこの紫色が、場所だけ安山岩中心線の、
0:34:13	今柳北井です。黄色、黄色はですね、そこがB層がたまってるというところで、
0:34:20	この笹波沖隆起体のこの縁辺ですね、断層はないんですが、やっぱり大きなルーキーエリア、東のエリアと、東、西の方の、
0:34:32	黄色いエリア、要するに両北井大局的に、この紫色の領域隊の西野。
0:34:40	円本ですね、こういったところに、深いところといいですか、大きな構造境界があるのではなからうかという、ちょっとざっくりした大きな解釈。
0:34:50	を申してますので、確かにですね、
0:34:53	断層がどこに綺麗にあるんだと言われれば、この辺りはちょっと全部の、
0:34:59	そのは反射法ではその掴ま確認できないと確認できないんですがこの流体の高いところと低いところの縁辺ぐらいの地下に、こういったものが、大きな構造がネーム。
0:35:09	て言うんではなからうかという、そこは解釈が入ってますので、そういうようなものは政務では見てごさいません。はい。以上です。
0:35:18	もうここに343ページに
0:35:23	トランスは断層沖起源とする構造の一部に対応すると考えられるというかなりこれ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:33	はっきりとした強い記載になってますけども可能性があるっていう、
0:35:41	ぐらいの記載かなと思うんですよね今。
0:35:44	断定するんであればこの構造がトランスファー断層だ。
0:35:49	断定するんであればそれなりの根拠を示していただく必要があるかと思 います。
0:35:56	はい。北陸電力吉田です。はい、わかりました。おっしゃる通りで、そ こはしっかり根拠がない場合は、可能性を低く、本当に解釈ベースで記 載か、そこは明確にしてですね。
0:36:08	根拠があれば、それぐらい書きましなければ、もう少し記載の角度を落 としたいと思います。はい。以上です。
0:36:17	よろしくお願いします。
0:36:18	これに関して何か。
0:36:20	審査チームからコメントありますか。
0:36:24	野田ですけど、今の 343 ページの吉田さんからのトランスファー断層の 説明は、はい。こういう考え方があるということは、
0:36:39	わかったんですけど。
0:36:40	我々、別に考え方とか解釈とかを示してもらうのは別に構わないんです けど、いずれにしても、ポイントとなるのは、連動、
0:36:50	させるものなのかさせないものなのかっていうものを、
0:36:54	データ、科学的データに基づいてこの場合だと多分基本的な音波探査記 録が中心になると思うんですけど、そういったものをもって、会合で は、議論、
0:37:06	することになると思いますので、考え方を御説明考え方解釈はいいんで すけど、いずれにしても、データ勝負になると思いますんで、その点はち よっと事前にお伝えしておこうと思います。以上です。
0:37:21	はい。付録電力、吉田です。おっしゃる通りですね、しっかり連動の可 否を判断するには、そういう解釈とかじゃなくて、実データ科学的な技 術データでご判断いただきたいと思いますので、
0:37:34	それと、それとは切り分けて、解釈的なものを申すんであれば、そこは しっかり分けてですね、記載したいと思います。はい。以上です。
0:37:48	はい。
0:37:50	規制庁の原田です。月曜日から入ったばかりですが、よろしくお願いします。
0:37:56	すいません

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:58	前回聞いてないんで、もう解決してるかもわからないんですがちょっと質問があります。
0:38:05	73 ページのところで、笹波沖断層大東部の活動性のラインB測線って書いてある図で、このラインBの、
0:38:15	横軸ってというのはこれは何なんでしょうかこの 100015002000 っていうのは、
0:38:24	クリック電力 1 社です。
0:38:25	この横軸は測定番号になりまして、この 73 ページの左の平面図を見ていただきますと、ピンク線書いてありますけれども、これがラインBの測線になります。
0:38:37	このピンク線の上にちょっと見づらいですけども 500100015002000 円というふうに、
0:38:43	ありまして、それがこのラインBの
0:38:48	横軸に対応しておりまして、大体の位置、平面的な位置がわかるようなそれがこの欄 B - A - 1、形式になっています。他の
0:38:59	測線も同様に、横軸は足天板になっておりまして、N - S の方見ていただくと測線番号の
0:39:06	切りのいいところで測線番号書いてありますので平面的な位置と対応してみただければと思っております。以上です。はい。そうするとこの
0:39:17	丸で示されてるオービィ押せ O B S を使って震源決定されたっていう観測点っていうのは、この 2000 までの間の観測点を使用されているということでしょうか。
0:39:39	こちらの声規制庁ノダですけどこちらの声聞こえてますか。
0:39:46	共同のまずすみませんもう一度質問、お願いしてよろしいでしょうか。この大賀、山田 T a l l 2008 で、会計、
0:39:58	B S を使って、震源決定した、要するに分布になりますけど、
0:40:07	これの B S の分布っていうのはどんなもんなんですかねこのところの高角の方の断層のところまでちゃんと
0:40:15	カバレッジっていうか、O B S が配置されてるんですかね。
0:40:25	何でこんな質問するかっていうと、この青のところの直上にしか、例えば O B S の観測点がなかったら、広角な方で地震がなかったんじゃなくて、ただ単に観測点がないだけで、震源が決まってないっていうだけの可能性も

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:41	あるんでちょっとお聞きしたいんです。
0:40:44	北陸電力社です。申し訳ありません断面自体は、文献から持ってきたものでちょっと文献をちょっと確認しないと、その辺ちょっと正確なことはわからないのでこれについては、
0:40:57	次回の資料に反映させていただきたいと思うんですけども、よろしいでしょうか。はい。そのOBSの大体この断面のところで使用してるOBSがどこのTところにあるかっていうのを
0:41:10	ちょっと断面図上に書いていただくとありがたいです。この陸側の、ああだ、あと例えば赤だと、赤のこの陸側の観測点で決めた。
0:41:21	自信がないじゃない高角なところになさそうに見えるんですけど、ただ単にこれは、小さい地震が決まってないだけの可能性があるんで、確認をお願いします。
0:41:35	はい北陸電力の野原です。こちらの吉井この佐藤ほか 2007 の測線上だけではなくて、
0:41:44	ある程度広い範囲で地震観測しておりますので、そういったものを文献確認した上で、この資料の方にわかるように反映していきたいと思えます。はい。以上です。あとちょっと
0:41:56	すいませんけどOBSが展開された期間も同時にちょっと書いていただけると、
0:42:04	ありがたいです。
0:42:08	はい。北陸電力の野原です。期間の文献を確認した上で記載したいと思えます。以上です。
0:42:16	あとは、伏在断層っていうか、このスプレイクザイ断層の方が、この2007年の陶板冬季で滑ったっていうお話でしたけどこれは、他の
0:42:29	何かデータからこういう、こっちが滑ったという証拠はあるんでしょうか。
0:42:52	岸町ノダですけど、音声届いてますかー。
0:42:57	北陸電力の野原です。音声届いております。江藤です。今ほどもご質問に対してですが、73ページの下の方に赤い枠で佐藤ほか 2007年の震源断層、
0:43:11	という記載もございますし、
0:43:14	この例えばをなさった方が2007年ですとこの赤い
0:43:18	枠で囲ってあるところで、能登半島地震が起きたという事件がまず一つございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:23	また、能登半島地震につきましては、他のいろんな機関からも、震源断層の方、特定されており、特定されておりました、
0:43:33	その大体この震源断層の地表部分、この図面と言いますと左上の部分っていうものが一致しておりますので、
0:43:42	そういったことから、今73ページの上で言いますと、
0:43:47	笹波沖断層大東部と書いてある、左側の断層ですね。
0:43:52	こちらが新松内県はいろんな、いろいろなところで言われているという状況になっております。
0:44:00	以上です。そしたらそれも入れていただいた方がいいような気がするんですけどこの震源決定のみっていうのは、何か非常に心もとないという感じが。
0:44:11	するんですけど、もうちょっと複合的な何か、
0:44:14	解析結果から、こっちの方が、
0:44:20	妥当であるっていうふうにしていただいた方がいいような気がするんですけど、いかがでしょうか。すみません。
0:44:29	はい。余震分布だけではなくてですね例えば地震時に実際に変位があったですとか、そういったような知見もございますので、そういったものもあわせて、お示しするようにしたいと思います。すみません以上です。お願いします。
0:44:45	あと、すみません、質問が。
0:44:55	後は、284ページなんですけど、
0:45:01	ハマダ達 2016 人おられたってあるんですけど、これの文献が、後ろに文献がないんで、ハマダで通る 2016 っていうのは、何を根拠にこの時、
0:45:13	1729 年の佐渡の地震が、この小田島沖セグメントって言ったんでしょうか。
0:45:24	はい。北陸電力の浜田です。まず文献の方は文献参考文献に記載させていただきます。この
0:45:34	この根拠にしたのは、海岸の隆起量を、ヤッコカンザシ等を使いまして、調べましてそこから想定される。
0:45:45	断層モデルから 1129 年の地震と、対応させているという論文でございます。以上です。それーで求められた、
0:45:56	マグニチュードっていうのは大体幾らなんですか。
0:46:02	北陸電力の羽田です 6.9 であったと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:09	確認して明記しておきます。以上です。
0:46:12	それで 6.9 だと、例えばこの、
0:46:16	これもいろいろ難しい問題はあるんですけど、例えばこの
0:46:22	つぶれ率って書いてありますよねこの 30%以上の地域っていうのがあって、宇佐見 2003 っていうのは、これツボリや率っていうのが、この書き方がすごく、非常に、
0:46:33	問題があるっていうか、これは宇佐見先生がそういう書き方してるんですけど、これは昔のその文献から前つぶれっていう今の前回と、
0:46:44	2、前回の家プラス半壊の家に 0.5 を掛けたものを出して、それを全国数で割った数字になりまして、例えばこの 30%っていうのだと、
0:46:56	大体 6 弱なんですよねマグニチュードとしては。
0:47:00	それでもあれこういう歴史地震の、こういう深度から、
0:47:04	計算されるような、マグニチュードになると、ちょっと大分小さくなっちゃったりしそうな気がするんですけど。
0:47:12	どうでしょうかねそこら辺のチェックとかはどうでしょうか。
0:47:17	はい。北陸電力の濱田です。今おっしゃられる通り、この地震につきましては、もともと名前からして能登佐渡と言われておりまして、能登なのか佐渡なのかも、もともとわからなくて、
0:47:30	1129 年に地震があったと。その規模も今ちょっと薄くて見えませんが、倒壊率のエリアから想定されたものです。
0:47:41	一方ハマダ井藤李 2016 が、その D たとは無関係に、海岸の隆起量から想定される。
0:47:52	断層は出るとその変位量から別途数、一度想定しておりまして、その範囲がおおよそ、
0:48:00	アピールという話と、あとその東海エリア、
0:48:04	A 断層現状の東海エリアと、断層面の分布の検証をした上でこの 1 名に池に相当するものという評価を行っております。以上です。
0:48:17	佐渡については、何かちょっと例えば、信州日本地震資料集とかそういうのを見ていただくと佐渡はさすがにもものすごく新しい年代に書いてあるだけで、あれはあんまり信用できないと思うんで。
0:48:34	ここの能登であることは、ほぼ間違いないと思うんですが、
0:48:40	どうかな、いろいろ状況にもよるけど、
0:48:47	もっと小さい地震でもいいのかなとか思ってたんですけど、はい。
0:48:53	わかりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:56	以上です。
0:49:05	ノダですけど、野原さん濱田さん地震活動等々、ご説明ありがとうございました。ちょっと事実確認させていただいたんで適宜、資料の方に反映していただければと思います。以上です。
0:49:22	はい北陸電力の野原です。資料の方に反映していきたいと思います。
0:49:28	以上です。
0:49:31	はい。規制庁の宮脇です。引き続き、
0:49:34	笹波沖断層泰然町と能登半島北岸 1 断層体の連続性について、
0:49:42	ちょっと確認させていただきたいと思います。
0:49:47	350 ページですね。
0:49:55	この猿山セグメントっていうのと、
0:50:00	この笹波沖断層体西部、
0:50:04	このセグメントの
0:50:05	これがんへ併走しててその間に、
0:50:09	屈曲している区間があると。
0:50:14	これが 3 層厚方向に 30 度以上の屈曲っていうか、屈曲があるんで、
0:50:21	事業者のルールに従ってこの区間は、主たる断層じゃないとしてるわけですね。で、
0:50:28	主たる断層の区間を 5、7.5 キロメートル、
0:50:33	以上あるということで、
0:50:38	これを別のセグメントにしてるということだと思うんですけども、
0:50:42	この屈曲鑑定そうは言っても
0:50:46	消してあることできないわけですよ。
0:50:50	これを
0:50:53	最初のルールでいくと、316 ページ。
0:51:00	片括弧 4 番。
0:51:01	2、該当するんだっていうことになると、
0:51:07	両側 5 キロメートル以内。
0:51:09	の離隔距離になって、
0:51:13	連動するという解釈も可能なんになるんじゃないかと思うんですけどもこの点は事業者はどのように考えてるんですか。
0:51:34	北陸電力 1 社です。
0:51:36	これにつきましては、
0:51:40	なくしているという考え方はしていませんで、実際、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:45	先ほども説明しましたがけれども、伝導考慮するにあたって、主たる震源断層となりうる部分を比較するといわゆる離隔距離としてはあるのではないかというふうに考えていると。
0:51:58	また、当然連続している部分の笹波冲断層体の部分と、建設している猿山冲清病院の屈曲した部分を比較すると、
0:52:08	総合としては違うので、我々としてはやはりこの二つっていうものは連動して動きづらいのではないかと、いうふうに考えているというのは、我々の考え方になります。以上です。
0:52:24	あの、
0:52:27	例えば
0:52:30	補足説明資料で何て言うんですか。
0:52:46	3-1-1-25 ですね。
0:52:50	推本が、
0:52:54	これ山崎断層体の長期評価を行っている例があるんですけども、
0:52:59	この山崎断層体主部というところで似たような構造があると思うんですよ
0:53:06	小断層が、
0:53:08	北西部と、
0:53:10	南東部とこ雁行しててですねその間を
0:53:14	分岐する、
0:53:17	断層があって
0:53:20	この主たる構造事業者が読ましたるその距離っていうのは5キロ以上いうにあると思うんですけども、こういったものについては連動して考え、
0:53:31	一連の断層体であるというふうに考え、
0:53:34	てるたってます。
0:53:38	これと似たような構造だと思うんですけども、この点はどのように考えてますか。
0:53:52	これが電力1社です。すいません。もう一度、どことこの部分とおっしゃった、この山崎断層他の支部の中の北西部
0:54:02	というところ。
0:54:03	の区間と、それから南東部っていう区間、
0:54:08	があるわけですねその間に、
0:54:11	屈曲した

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:15	安富断層というんですかね、それがあって、
0:54:21	この主たる構造は、
0:54:24	離隔距離っていうのは、5キロメートル以上。
0:54:28	はい。
0:54:29	あるんですけども、
0:54:31	これについては一応一連の断層体と
0:54:35	推本は評価して、
0:54:37	るようです。
0:54:40	この構造と、非常に類似だと思うんですけども、
0:54:45	事業者、ここ、
0:54:49	これこのノートについては言動しないっていうふうに考えたのは、
0:54:54	どうしてなんですか。
0:54:57	栗城電力イシダです。
0:54:59	北西部と南東部に関してはこの間の安富断層が繋がっていて、それが安富断層と南東部が夜5キロ、
0:55:09	内にあるというところもあって我々これつなげているのではないかというふうに考えています。むしろ矢崎断層台東な木山断層隊、
0:55:19	木谷有賀木山断層体ですね、これが、いわゆる層厚が違うということで、
0:55:25	連動を考慮していきたいという部分が、我々着目すべき点だというふうに考えますけれどもいかがでしょうか。
0:55:33	はい。
0:55:35	とは、
0:55:37	私が言ってるのは
0:55:38	安富断層体。
0:55:40	と、それから北西部と南東部の間の構造が、
0:55:48	かなり斜交してる層厚方向に、
0:55:52	ここ、これについても
0:55:56	連動の評価の対象になってるわけですね。
0:56:01	一方で、
0:56:05	こちらの、
0:56:13	金猿山セグメント等、
0:56:18	笹波沖断層体については連動させないという、
0:56:23	のはどのように考えてるのかということ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:56:27	北陸電力の三原です。
0:56:30	江藤村上山崎断層体の北西部等、安田断層につきましては、高坂久我、宇都おそらく 30 度よりも、
0:56:39	小さいんではないかと。
0:56:42	またそのトレース自体も、北西部から安富断層を通して南東部に、
0:56:48	ある程度連続していると、こういうことを踏まえまして、
0:56:51	我々としてはもしこの山崎断層と評価することであれば、連動評価すると。
0:56:56	いうふうに思います。
0:56:57	従って今の笹波沖断層体とされるセグメントにつきましてはこの事例とは、
0:57:03	違うのではないかというふうに我々は解釈しておりますが、いかがでしょうか。
0:57:09	それはもう走行方向の角度でもう、その 30 度っていう閾値で決めてるということなんですか。
0:57:19	はい。それも一つの根拠としております。
0:57:24	はい。
0:57:25	わかりました。
0:57:29	審査チームの方から何かコメントありますか。
0:57:35	ノダですけど、ちょっと今のところは、
0:57:39	ヒアリングはあくまでも事実確認ですので、実確認した上で、
0:57:44	必要あれば、審査会合で、この連動の
0:57:50	何ですかね、必要性、必要性とか連動させるか否かっていうところは、議論させていただければと思うんですけど。
0:57:57	1. 350 ページの左下に図があって、
0:58:03	例えばこれ真ん中辺り、離隔距離って示されている一方で、これ、御社の断層の評価、笹波沖断層体もそうですし、
0:58:14	春山沖セグメントも示されていないと思うんですけど示されていればどれが御社としての、この両断層の評価、
0:58:24	長さだったり、位置なのか、ご説明いただいていいですか。
0:58:34	すいません北陸電力 1 社です。
0:58:36	申し訳ありませんこの地質図、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:39	のところには、我々の断層トレースをちょっとトレースしていませんでそれがちょっとわかりにくくなっているというところがあります。348ページの、
0:58:49	左上の、
0:58:52	ブーゲこれブーゲ異常図なんですけれども、これに今、オレンジ色で断層トレースを載せておりまして、そこにも今同様な記載をしておりますという、この
0:59:02	我々のこのオレンジのトレースを見ますと、shall八巻セグメントのなん西端付近屈曲してまして、その部分と、今、その下に佐貫断層体のオレンジ色で我々の取り扱ってますけれども、これがかなり
0:59:17	斜交というか、かなり相互を意味して30度以上異なる形で、建設しているという部分になっております。離隔距離を、この
0:59:26	猿山のセグメントと笹波沖断層体の直線的な部分を比較すると7.5キロ離れているというところになっております。この349350ページについては、
0:59:38	我々のトレース中、すいません加筆していませんでしたのでこれについては加筆して、
0:59:44	修正したいと思います。以上です。
0:59:47	ご説明ありがとうございます。そうですね。通す34950、51と、ここのあたりをベースに、ここの連動の可否を議論する。
1:00:00	ことになると思うんで、御社の断層トレース、記載し、追記していただければと思います。以上です。
1:00:13	規制庁甲斐規制庁のカイダです。私もちょっとこの、今ここの辺の、これ多分、事実関係の確認になりますけれども、
1:00:25	352ページをお願いします。
1:00:29	これ猿山沖セグメントの端っこの方で、
1:00:34	特にN1っていう下の方はこれ、先ほどのご説明だともう主たる構造じゃないという区間になってもほとんどもうここが一番端部のあたりという、
1:00:47	ことかなと思います。
1:00:49	で、ただちょっとこの探査記録見ると、
1:00:53	なんていうか、ずれがものすごい立派というか、D層なんて、
1:00:59	すごいずれてて、あとその上の地層も、ずれ量がわからないぐらいあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:08	そのN7っていう方と違っているのがそんなに、
1:01:13	もうわからなくて、
1:01:15	基盤がすごい上の方までこう上盤側っていうのは出てる。
1:01:20	ここが何か
1:01:22	こういったのを見て収集寡婦受祝福かみたいなところをどう判断したの かっていうところをちょっと聞きたかったのと、あと、
1:01:33	このN1測線っていうのは、この
1:01:37	352 ページの後背地を見ると、ここだと。
1:01:43	349 ページを見ると、すぐその先で、
1:01:49	別の何て言いますかね、N108。
1:01:53	-1 測線、
1:01:55	とか、
1:01:56	ナンバー2Sっていうのがあって、
1:01:59	もう本当、隣なんですけどさっきのD層のコーンが見えてないとかって いうのもあるんですけど、このあたり
1:02:09	音響基盤っていうのがどういうふうに分布してるかとか、
1:02:15	どこ行っちゃったのかっていうところっていうのは何か、
1:02:19	確認等されているかその辺の解るの図面というのがこの辺についている のか、教えていただきたいんですけれども。
1:02:28	よろしくお願いします。
1:02:32	北陸電力市田です。
1:02:33	まず1点目の352ページのNE測線の解釈になりますけれども、
1:02:39	こちらもいわゆる猿山沖セグメントが隆起させているであろうこのD層 流北井の部分の一番西縁の部分になってきますので、流、
1:02:49	木自体はしていると。ただ、先ほど申し上げましたけども349ページ の、さらに何、西方に行きますと、
1:02:59	いわゆるこの隆起体も終わりました、断層のような変位変形は、
1:03:06	見てとれないという部分になってきます。
1:03:09	実際、このG層がどこまで来ているかという部分につきましては、
1:03:18	てないですね。
1:03:20	ちょっと今回の資料ではあまりわからなくてですね。
1:03:25	ぎりぎりわかるとしたらええと、違う。
1:03:28	ページになるんですけれども337ページの、
1:03:32	B層等深線図を見ていただきまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:37	ちょっとこれも喜多の方がちょっと切れているんですけども、
1:03:43	これを見ますと、猿山沖セグメントが、笹波沖断層田井東部と書かれたところは、かなり西方に、この高い。
1:03:53	西方海域まで隆起していることがわかってましてこの猿山のセグメントの方を見ますと、佐山セグメントの方に行く北方の方を見ますとほぼ海岸線に、
1:04:04	と平行なようにD層が流れていってますので、いわゆる利益単位が違うというところがわかるかと思い、思います。以上です。
1:04:14	すいません北陸電力の野原です。少し補足させていただきます。
1:04:19	それとまず 352 ページのNE側線、これは実行にもかかわらず、D層が変位量が大きいのではないかなというようなご指摘。
1:04:29	かと思いますが、今ほど石田からも説明あった通り、柳北井の西橋になります。
1:04:34	我々このさらなるセグメント、
1:04:37	が含まれますこの能登半島北部沿岸域断層体ですとか、笹波沖断層田井東部、
1:04:43	こういった走向のものは、右横ずれ、逆断層成分を持った断層というふうに考えております。
1:04:49	従って、メインの部分は、横ずれ成分を伴った併用ということになります。
1:04:55	で、それがですね、その端っこの坂巻セグメントの西橋野沖ますと、
1:05:00	その滑り量に対して、層厚が直になりますので、
1:05:04	端っこの方はどうしても鉛直成分が大きくなるということから、この端っこの方は0層が大きくなっていると。
1:05:13	そういうことをもってメインとしては右横ずれ逆断層なんですけど、実行の方に来ると、西橋のように来ると、鉛直成分が大きくなると、そういった解釈をしておりますので、
1:05:22	そういったことがわかるように資料の方も記載したいと思います。
1:05:26	また2点目の、データを先ほど石田の方から337ページの方説明しましたが、今これちょうど北のほうを少し途切れております。
1:05:36	これより北のほうは30キロ以遠で少し精度は
1:05:41	フェアリング監査制度を取りをとるんですが、
1:05:44	こういったD層の等深線図等を示しまして、この猿山セグメントと、ちょうど小貫断層体の中の0層の深さの分布、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:55	何らかの形で示していきたいというふうに考えております。以上です。
1:06:00	カイダですわかりました後々に説明された方は、そうですねそこそういった資料があるのであればちょっとお願いします。
1:06:10	それは来週ですかね最終の間に合えばということですけども
1:06:18	お願いします。で、
1:06:19	最初にご説明のあった 352 ページの NN ワンっていうのは、
1:06:25	D 層もんですけど
1:06:28	B とか C 層も、
1:06:30	すごい
1:06:32	ずれてるけどもやっぱり、
1:06:34	端っこの方で鉛直成分が、
1:06:38	大きくなって、
1:06:39	これはメインの構造じゃないところだけどそれぐらいのものは、
1:06:44	ある、ここの辺の地域だとそういうのもあるんだということよろしいんですかね。
1:06:53	はい。これも先ほどもうちょっと解釈がデータから基づく事実かという点もございまして、この猿樂セグメントとしましてはそういったことがいえると思いますが、この辺全部がそうかと言われますと、ちょっと
1:07:08	データがついてこないところもありますので、一部解釈が入るところもございまして。そういったところは整理してお示していきたいと思えます。
1:07:15	以上です。カイダですあ、わかりましたじゃまたその辺よろしくお願いします。
1:07:48	はい。確認しはですね正常化からからの確認は以上となりますが、北陸電力の方から何かコメント等ございましてでしょうか。
1:08:06	フジタですけども、こちらの方から特に追加の事項はございません。以上です。
1:08:14	規制庁野田ですけど、本日のヒアリング、すいません短時間になってしまったんですけど、事実確認させていただいてありがとうございました。で、この周辺海域の今後の進め方については、冒頭お伝えしました通り、
1:08:30	17 の週のどこかで、今回あと前回のヒアリングを踏まえて、等踏まえてですね、資料をもう一度、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:40	審査課を前に確認させてもらうのと、あとはスケジュールですかね、スケジュール、これも28日の審査会合にかけようと思っておりますので、
1:08:50	都合2点ですね、この海域の資料とスケジュールについて、もう一度17の週に、ヒアリングをさせていただければと思いますので、
1:09:02	またちょっと資料の提出のタイミングであるとか、あとはヒアリングの具体的な日時については、後、調整をさせていただければと思っておりますけど、藤田さんいかがですか。
1:09:16	スケジュールにつきましては私どももちょっと今日間に合わなくて本当申し訳なかったんですけども、次回のヒアリングにはしっかり前回の
1:09:24	事実確認踏まえて、現実的な工程もかけますんで、それでし、また確認をお願いしたいと思っております。改定については先日と今日の
1:09:33	結果を踏まえて資料修正してる部分もありますし、今日いただいたものもしっかり追加できるものにそろえてですね、資料来週お出しするようになりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
1:09:46	野田ですけど、藤田さんありがとうございました。それで、スケジュールと海域の資料、もしスケジュール先にできた、できるのであれば、先にもらってもいいですし、
1:09:58	ちょっと一緒ということであれば、同時でもいいですけど、ちょっと部長がですね、スケジュール気にしていたので、1度、部長のところ、
1:10:09	説明には行こうと思っております。以上です。
1:10:14	所掌しました
1:10:17	スケジュールの方早めに仕上がりましたらまたそれだけでも先にを、
1:10:20	お出ししたいと思っております。以上です。
1:10:23	ノダですけどはい。ありがとうございます。そうしましたら、そういったスケジュール感で、
1:10:30	28日ですかね、28日の審査会合に向けて、準備、
1:10:36	していければと思います。
1:10:39	私からは以上ですけど。
1:10:43	はい。規制庁側からは以上ですけど、そうしましたらもしよろしければこれで本日のヒアリングの方、終わりにさせていただければと思います。ありがとうございました。
1:10:54	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。